

評価の区分

市街地部などの道路と郊外部・山地部の道路は、走りやすさに影響を与えるものが異なりますので、「市街地部などの道路」と「郊外部・山地部の道路」に分けて評価しています。

市街地部などの道路とは

市街地部などの道路とは、道路の両側もしくは片側に人家（建物）が連続している区間としています。



市街地部などの道路（イメージ）

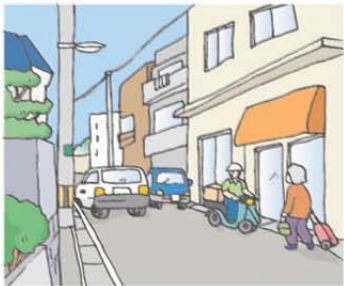
評価の方法

【市街地部などの道路の評価】

歩行者や自転車が多い市街地部などの道路は、歩道と車道の分離状況（歩道の有無や歩道の幅）等によって評価しています。

市街地部などの道路の評価

「歩道が設置されているか」また、「歩道の幅が十分にあるか」などを調査して評価しています。



【郊外部・山地部の道路の評価】

カーブが多い郊外部・山地部の道路は、カーブの大きさや多さ等によって評価しています。人工衛星を利用して計測ができる調査車両（以下：プローブカー）を実際に走行させ、走行速度や車体にかかる重力を観測し、カーブの大きさや多さを分析しました。

郊外部・山地部の道路の評価

プローブカー調査で得られたデータを用いて、カーブの大きさや多さを評価しています。

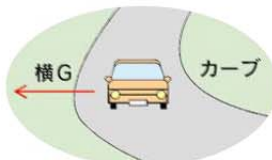


“プローブカー”とは

プローブカーとは、飛行機に搭載されている「フライトレコーダー」の自動車版です。自動車に搭載したGPS機器が、人工衛星から時刻や緯度・経度などのデータを受信して、自分の位置を1秒間隔で把握する他、走行速度や車体にかかる重力を観測します。

▼プローブカー調査で得られるデータ

- ① 走行速度
- ② 横方向にかかる重力（横G）



▼プローブカー調査のイメージ

